

令和 7 年 5 月 1 日

加盟団体各位

静岡県剣道道場連盟
会長 渡邊 典夫

第41回全国道場対抗剣道大会 静岡県予選会 第9回静岡県道場対抗剣道大会 要 項

1. 主 催 : 財団法人 全日本剣道道場連盟
2. 主 管 : 静岡県剣道道場連盟
3. 後 援 : (財)全日本剣道道場連盟及び(社)静岡県剣道連盟
4. 趣 旨 : (財)全日本剣道道場連盟事業の一環として道場対抗剣道大会は、師弟同行の精神を主眼にし、小学生から大人で構成する団体戦で道場の先輩・後輩・指導者が協力して臨む大会であり、道場単位で道場間の交流を図るとともに剣道普及と地元剣道の活性化に寄与することを目的とする。
5. 日 時 : 令和 7年 6月 1日(日)
入館・受付 13:00
※個人戦(中学生の部)終了後、開催する
6. 会 場 : 東遠カルチャーパーク総合体育館 さんりーな
住所 静岡県掛川市大池2250
TEL 0537-22-5553
7. 参加資格 : (1)(財)全日本剣道道場連盟に加入している団体であること。
(2)小・中学生は少年剣士会員章(ワッペン)を着用すること。
(3)選手構成基準(年齢の基準は、全国大会前日10月18日とする。)
先鋒 : 小学生
次鋒 : 中学生
中堅 : 高校生以上29歳以下
副将 : 30歳以上
大将 : 40歳以上(40歳以上であれば年齢は副将より年下でも可)
※中堅以降は道場3年以上修業し在籍(登録)していた者とする。
※中堅・副将・大将は職種を制限しない。
(4)1道場複数(男女混成可)の参加を認める。
(5)優勝・準優勝チームは全国大会(令和7年10月19日・鹿児島県)に出場する。

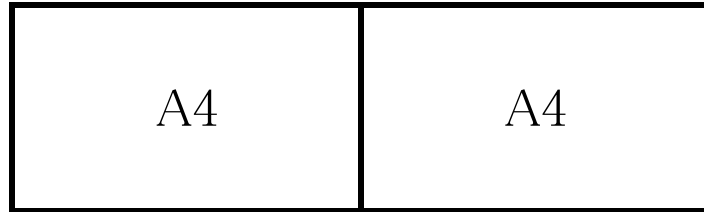
8. 試合方法 : (1)全日本剣道連盟試合・審判規則並びに同細則に準じて行なう。
※小学生は111cm(3尺6寸)以内とする。
(2)新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な審判法に準じて行なう。
(3)中学生の「上段の構え」「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部
申し合わせ事項に準じ禁止する。
(但し、隻腕の場合は、事前に大会本部に連絡をする。小学生もこれに準ずる。)
(4)試合時間は、先鋒・次鋒は2分、中堅・副将・大将は3分の3本勝負とし時間内に
決着がつかない場合は引き分けとする。
※決勝戦においては、先鋒・次鋒は3分、中堅・副将・大将は4分の3本勝負とし時間内に
決着がつかない場合は引き分けとする。
(5)勝敗は勝者数法とし、勝者数が多い方が勝ちとする。勝者数が同じの場合は取得本数が
多い方が勝ちとする。勝者数・取得本数ともに同数の場合は代表戦を行なう。
代表戦は、その試合の最後に引き分けた者で行なう。
試合時間は、予選・決勝戦の時間に準ずる。1本勝負で行い勝負がつかない場合は
延長戦を3分ずつ区切って勝負が決するまで行なう。
9. 参加料 : 1チーム 10000円
10. 参加申込み : (1)指定の参加申込書により郵送にて申し込む。(開催案内参照のこと)
(2)締め切り 令和7年5月 17日(土)
11. 参加料 : (1)大会当日受付にて納入する。
12. 表彰 : 各部門3位までの表彰を行なう。
13. 安全対策 : (1)出場チームは必ず監督が引率し、大会中の選手の安全・健康管理に努める。
(2)大会中の負傷及び疾病については、主催者側において応急処置を施すが、
それ以外の責任を負いません。
(3)選手は各団体で傷害保険に必ず加入の上、参加すること。
(4)少年剣士会員章(ワッペン)着用の選手は、自動的に傷害保険が適用される。
14. その他 : (1)監督の服装は、正装(スーツ)または稽古着の着用のみ同席を認める。
(2)選手変更は、当日、受付まで可能とします。受付の係員に申し出てください。
(3)選手のゼッケンは、道場名・氏名の明記されたものを着用すること。
(4)紅白のタスキは各自で用意すること。
(5)少年剣士会員章(ワッペン)は右肩に付けて参加のこと。
(6)竹刀の使用は「SSPシール」の貼付されたものを使用すること。
※2017年から全日本道場連盟の主催する大会において「SSPシール」の貼付された
竹刀の使用を義務化されています。静岡県剣道道場連盟においても同様の扱いとする。
(7)主催大会実施にあたって感染拡大予防を考慮して行なう。
※試合者は試合中、面マスク又はシールドを着用すること。

(8)選手登録は当日、受付でのオーダー表の提出にて選手登録とする。

※その後の選手変更はいかなる場合に於いても認めない。

(9)オーダー表は参加チームにより作成する。

〈オーダー表サイズ〉



団体名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
-----	----	----	----	----	----

(10)大会当日、体育館内への入館制限は特に設けない。

但し、試合会場への入場は監督1名・選手5名とする。